

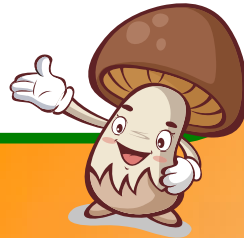
財務諸表



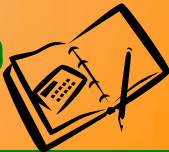
予算書や決算書などの今までの公会計とは別に、諸塚村の財務状況をあらわす新たな取り組みとして、次の財務諸表を作成しました。

- ①資産や負債の状況などを表す「貸借対照表」
- ②人件費や減価償却費などの経費を表す「行政コスト計算書」
- ③純資産の一年間の変動内容を表す「純資産変動計算書」
- ④資金収支の状況を性質別に3つの区分に表す「資金収支計算書」

以上の4表をあらわしたものが財務諸表になります。



きっかけ



平成18年6月に成立した「行政改革推進法」を契機に、地方の資産・債務改革の一環として「新地方公会計制度の整備」が位置付けられました。

1. 地方公共団体は、総務省の「新地方公会計制度研究会」が示した「基準モデル」又は「総務省改訂モデル」に沿った発生主義・複式簿記の考え方を導入し、地方公共団体単体及び関連団体（土地開発公社等）の連結ベースでの4つの財務諸表を整備すること
2. 人口3万人以上の団体は平成21年度中に作成し、情報を開示すること

諸塚村でも人口が2,000人弱ではありますが、平成20年度決算から新たな財務諸表を作成しています。



貸借対照表

期末時点で、諸塚村にお金がいくら残っていて、建物などの資産がどれくらいあり、借金はいくらあるのかを明らかにしてくれるのが、「貸借対照表」です。

左右の合計額が等しいこと、現時点の資産と負債などの残高（＝バランス）を示していることからバランスシートとも呼ばれます。



行政コスト計算書

諸塚村の行政活動には、福祉や教育などでの人的サービスや給付サービスの提供などがあります。行政コスト計算書では資産形成につながらない行政サービスに関わるものを計上しています。



純資産変動計算書

諸塚村の純資産(貸借対照表の資産と貸借対照表の負債の差)が1年間でどのように増減したのかを明らかにします。

資産のうち、支払済みの部分になります。

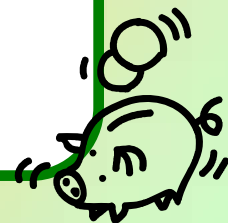
このとき、貸借対照表の「純資産の部」と値が一致しなければなりません。



資金収支計算書

1年間の村の現金の歳入と歳出が、どのような理由で増減しているかを、性質別に区分して整理したものです。

このとき、資金収支計算書の期末歳計現金残高と貸借対照表の「歳計現金」が一致しなければなりません。



諸塚村の財政

財務諸表ってなに？

貸借対照表

資産

負債

現金

純資産

資産蓄積情報

行政コスト計算書

経常行政コスト

経常収益

純経常行政コスト

経費情報

資金収支計算書

収入

支出

現金増減額

期首現金残高

期末現金残高

資金情報

純資産変動計算書

期首純資産残高

純経常行政コスト

一般財源・補助金受入等

資産評価替え等

期末純資産残高

純資産情報

諸塚村の財政

住民ひとりあたりに見る財務諸表

貸借対照表



資 産	1,442 万円
負 債	213 万円
純資産	1,229 万円



行政コスト計算書



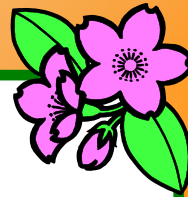
経常行政コスト	147 万円
経常収益	4 万円
純経常行政コスト	144 万円



諸塚村の財政

住民ひとりあたりに見る財務諸表

純資産変動計算書

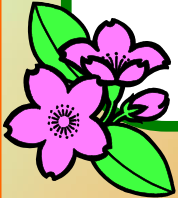


期首純資産残高

1,212万円

期末純資産残高

1,229万円



資金収支計算書



期首資金残高

11万円

期末資金残高

15万円

今年度資金増減額

4万円



諸塚村の財政

住民ひとりあたりに見る経費

土木費

18万6,000円

道路・橋・公園などの整備・管理など公共施設の整備にかかる経費。

教育費

13万3,000円

学校、社会、生涯学習活動、芸術・文化・スポーツの振興など教育全般にわたる経費。

民生費

17万7,000円

児童、高齢者、心身障害者等のための福祉施設の整備や運営経費。

環境衛生費

14万3,000円

健康増進、疾病予防、環境保全、清掃費などの経費。

産業振興費

5万6,000円

農地改良などの農林水産業や観光などの商工業にかかる経費。

消防費

1万2,000円

消防車や消防設備の整備などにかかる経費。

総務費

20万7,000円

庁舎の管理費用や財産の管理などにかかる経費。

議会費

1万9,000円


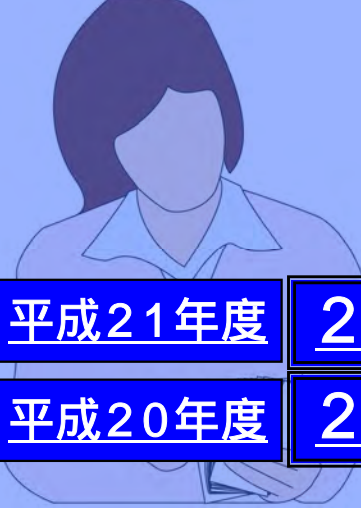
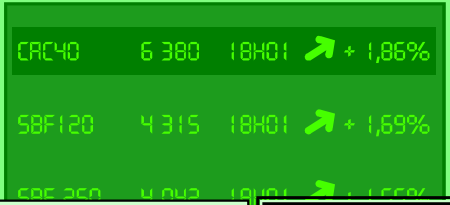
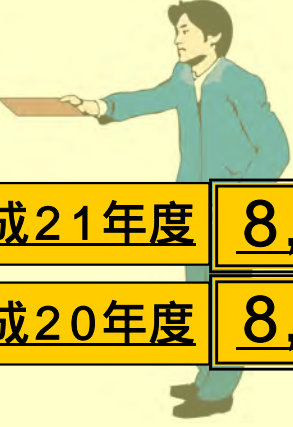

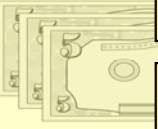
議会議員の報酬、議会の運営に関する経費。

支出合計 住民一人当たり 147万円



諸塚村のバランスシートを住民1人あたりにするとどうなる？

バランスシート

借方 (固定資産や株、預金などの資産がどれだけあるか)	貸方 (資産を手に入れるために払ったお金と借金)								
<p>土地や建物などの固定資産</p>  <table border="1"> <tr><td>平成21年度</td><td>12,392,000円</td></tr> <tr><td>平成20年度</td><td>12,113,000円</td></tr> </table>	平成21年度	12,392,000円	平成20年度	12,113,000円	<p>借金</p>  <table border="1"> <tr><td>平成21年度</td><td>2,130,000円</td></tr> <tr><td>平成20年度</td><td>2,214,000円</td></tr> </table>	平成21年度	2,130,000円	平成20年度	2,214,000円
平成21年度	12,392,000円								
平成20年度	12,113,000円								
平成21年度	2,130,000円								
平成20年度	2,214,000円								
<p>株などへの投資</p>  <table border="1"> <tr><td>平成21年度</td><td>1,564,000円</td></tr> <tr><td>平成20年度</td><td>1,491,000円</td></tr> </table>	平成21年度	1,564,000円	平成20年度	1,491,000円	<p>すでに支払った額</p>  <table border="1"> <tr><td>平成21年度</td><td>8,812,000円</td></tr> <tr><td>平成20年度</td><td>8,249,000円</td></tr> </table>	平成21年度	8,812,000円	平成20年度	8,249,000円
平成21年度	1,564,000円								
平成20年度	1,491,000円								
平成21年度	8,812,000円								
平成20年度	8,249,000円								
<p>現金・預金</p>  <table border="1"> <tr><td>平成21年度</td><td>465,000円</td></tr> <tr><td>平成20年度</td><td>291,000円</td></tr> </table>	平成21年度	465,000円	平成20年度	291,000円	<p>支払った額のうち国庫・都道府県支出金で支払った額</p>  <table border="1"> <tr><td>平成21年度</td><td>3,479,000円</td></tr> <tr><td>平成20年度</td><td>3,432,000円</td></tr> </table>	平成21年度	3,479,000円	平成20年度	3,432,000円
平成21年度	465,000円								
平成20年度	291,000円								
平成21年度	3,479,000円								
平成20年度	3,432,000円								

諸塚村がこれまでに整備してきた道路や公共施設などの総額は、住民1人あたりで

14,421,000円あります。次いで、すぐに現金化できる現金・預金といった資産が多くなっています。

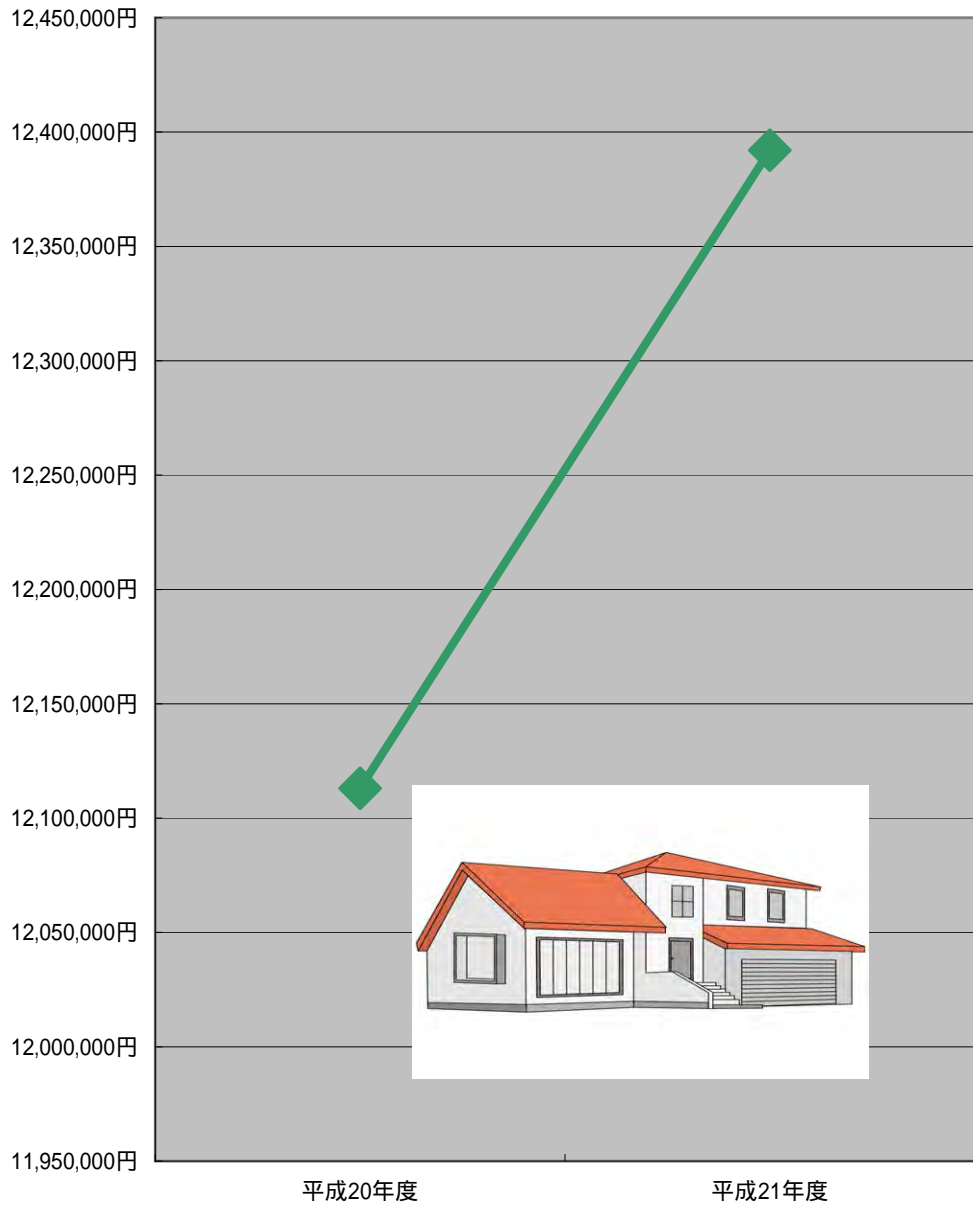
また、資産を作るために使われたお金の中で最も大きいものは税金などのいわゆる自治体の収入ですが、地方債などの借金も**約19%**を占めています。



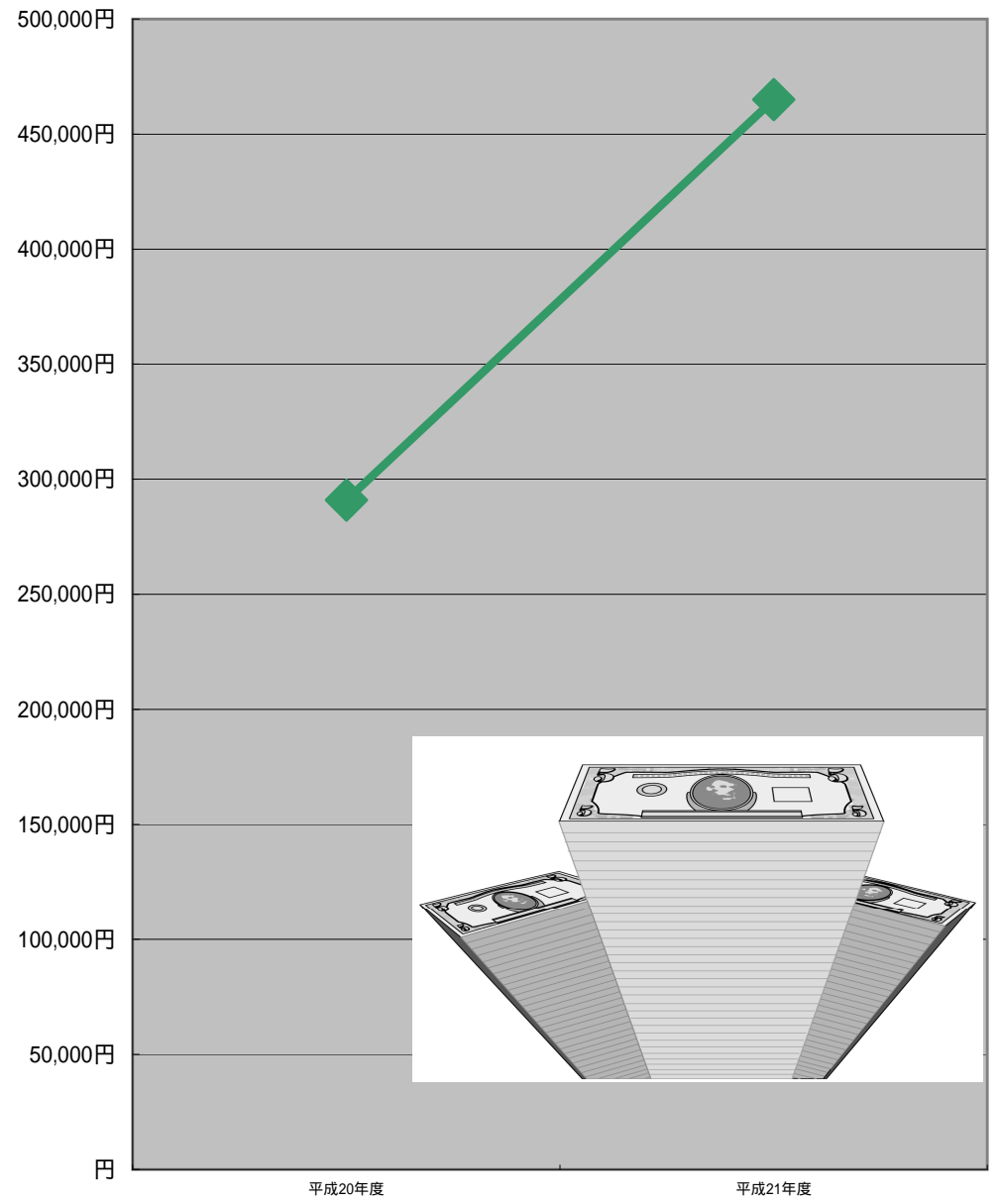
わたしのまちはどうなってるの？

2年間の変動は？

土地や建物などの固定資産



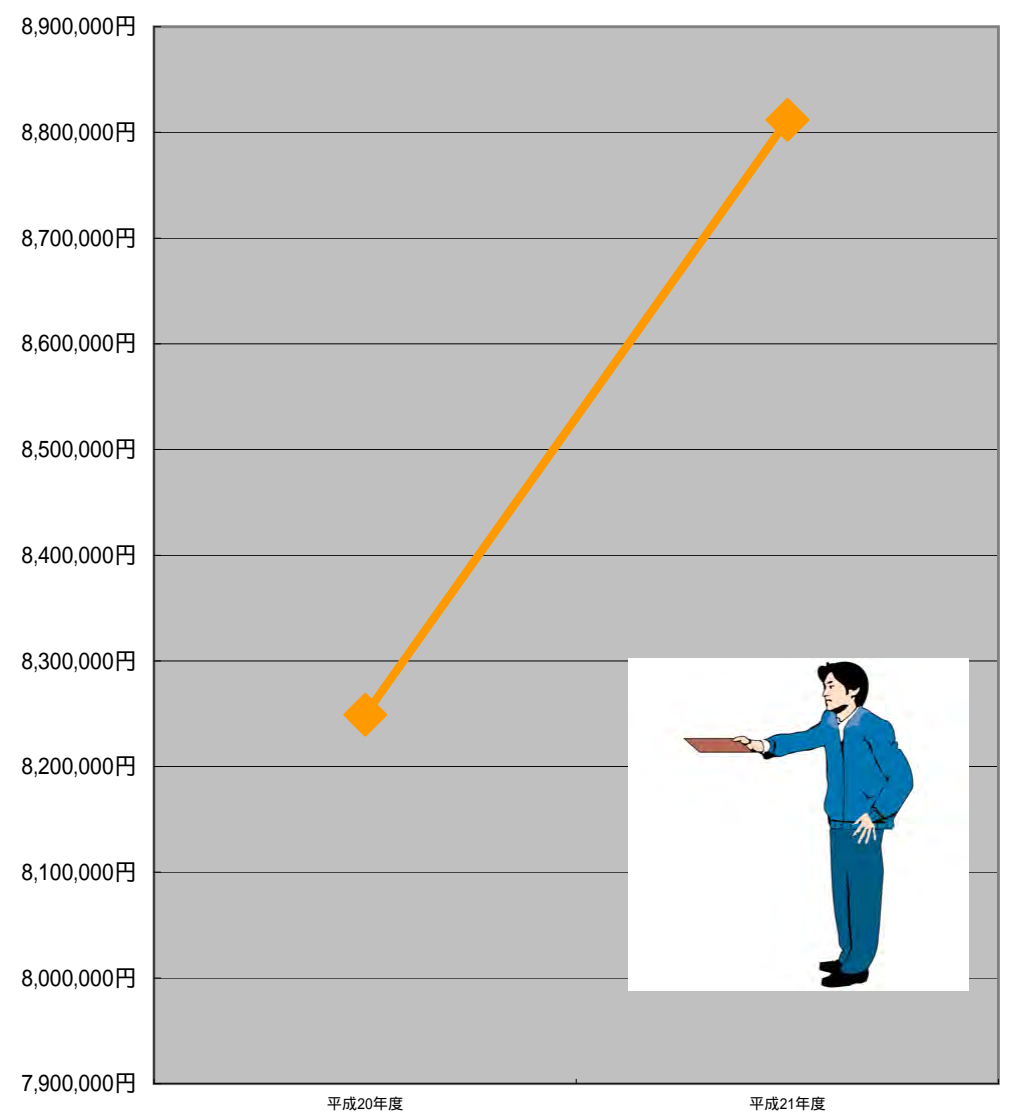
現金・預金



借金



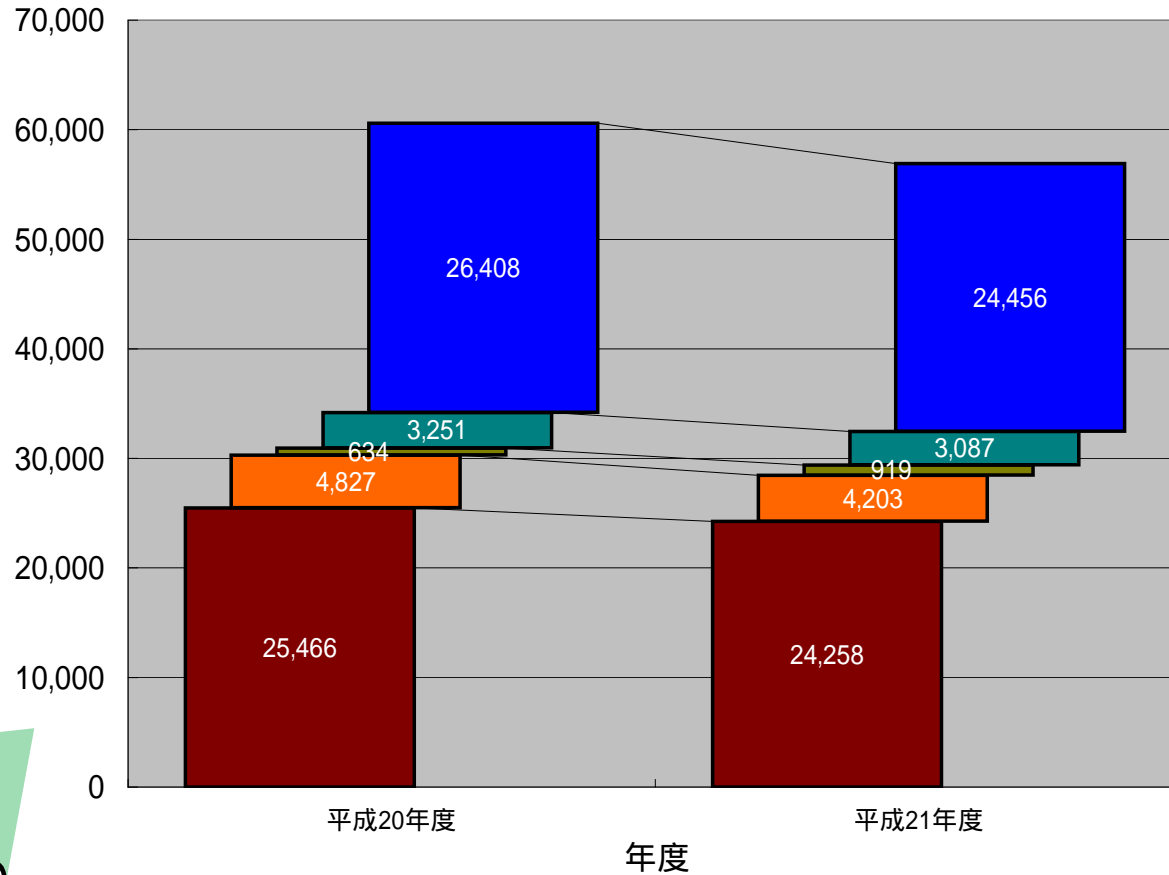
すでに支払った額



年収360万円の家庭とした場合のバランスシート

注:ここでの収入は、歳入総額から地方債発行額を除いた額としております。

金額(単位:千円)



■ 家・土地 (有形固定資産)



■ 株 (投資等)



■ 預貯金 (流動資産)



■ 借金・ローン (負債)



■ 資産として積み立てられた収入 (純資産)

